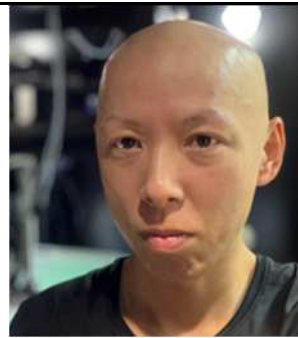


受賞者の声（公開）

氏 名	兼子峰明		
受賞時所属	(所属) 自然科学研究機構 生理学研究所		
	(職名) 特任助教		
現所属	(所属) 自然科学研究機構 生理学研究所		
	(職名) 特任助教		
受賞テーマ名	霊長類の適応的な社会行動を支える脳内機構の解明		
受賞テーマにおける研究活動の現況			
多様性を許容し調和ある社会を構築し、その構成員が心身共に健康な生活を送れる世界を実現するためには、人と人がどのように社会関係を維持・構築するのか、その行動学的知見のみならず、生理学・神経科学的知見の集積が必須であると考えています。近年は、他者の心の状態（気分や意図）を理解する情報処理機構に注目して、霊長類をモデル動物として研究を進めています。霊長類動物は、ヒトと類似した社会行動特性・脳機能構築を有しており、様々な実験技術が適用可能ですから、このような研究に最適です。他者の心の内面は直接観察することはできませんが、行動を観察することで推定できます。人工知能を活用した最新の行動解析技術を用いて、このような認知機能に因果的に関与する脳領域を見出しました。また認知神経科学の知見と整合性のある計算モデルを提唱し、これを人工神経ネットワークに実装し、仮想世界においてその特性を検証しました。			
今後における研究活動の展望			
これまでに、人工知能技術により複雑な行動を客観的かつ効率的に定量化する技術を開発し、霊長類行動解析において大規模データ駆動型解析を実現しました。人工知能技術は行動解析のみでなく、実世界データを対象に機能する認知システムを人工的に構築することが可能です。生体から取得されるデータと組み合わせて解析することで、私たちの脳に実装されている計算機構について、より深く知ることができると考えています。今後は、in vivo と in silico の実験を統合した認知神経科学の新たなパラダイムによって研究を推進していきたいと考えています。			
受賞後の反響・各賞の受賞等			
私は専ら基礎科学分野で研究を進めておりますが、企業からもお問い合わせをいただくなど、幅広い方々に私の研究を知っていただく機会が増えたと感じています。受賞後は新たな共同研究が始まり、助成金を獲得するなど、研究のさらなる発展へとつながりました。			
わかしゃち奨励賞への期待			
私は愛知県出身であり、「わかしゃち」の名を冠した賞を賜りましたことを大変光栄に存じます。この賞の創設と運営にご尽力していただきました皆様に心より感謝申し上げます。今後も本奨励賞が若手研究者の励みとなり、さらなる躍進の契機となることを願っております。			